

事例集の概要

1 事例の収集方法

平成18年10月に、各都道府県教育委員会に対し、都道府県及び市区町村の体験活動ボランティア活動支援センター等（以下、「支援センター」という。）（※）が平成17年度中に行ったコーディネート事例について、特色ある活動を行った事例、あるいは特に力を入れた事例の調査を行った。調査の結果、各支援センターから寄せられた事例の中から、当センターにおいて選定を行い、さらに事例の詳細について原稿執筆の御協力をいただいたものを事例として取りまとめたものである。

2 事例の種類

支援センターにおける体験活動ボランティア活動のコーディネート事例について、下記により分類し、掲載した。なお、分類については、当センター独自の分類となっている。

分類について

- ア 青少年のボランティア活動の場を開発した事例
- イ 青少年のボランティアグループを組織し運営に協力した事例
- ウ 地域のボランティア推進機関やNPOなどと連携・協力した事例
- エ 社会教育施設や社会教育団体と連携・協力した事例
- オ 地域と学校（小・中・高校）が連携・協力した事例
- カ 大学と連携・協力した事例
- キ 指導者養成のためのプログラムを作成した事例
- ク その他特色ある事例

3 事例集作成協力者

全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター

木村 清一 日本ボランティア学習協会常任理事、亜細亜大学非常勤講師
興梠 寛 世田谷ボランティア協会理事長
中根 惇子 水戸ユネスコ協会副会長
橋本 洋光 東京女学館中学校・高等学校教諭
坂東 侑司 敬愛大学特任教授

※ 支援センターには、体験活動ボランティア活動支援センターの名称を使用していない場合であっても、支援センターの機能を有している組織がある場合には、その組織を含む。